

小鹿建第 360 号

平成 20 年 10 月 16 日

国土交通省道路局長 様

埼玉県秩父郡

小鹿野町長 関 口 和 夫



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

国道企第 37 号で依頼のあった件につき、別紙のとおり回答いたします。

1 西関東連絡道路の早期完成

西関東連絡道路は、関越自動車道花園インターと山梨県を結ぶ地域高規格道路で国道140号のバイパスとして秩父市内の慢性的渋滞を回避する大変重要な道路です。現在皆野寄居バイパス、皆野秩父バイパス（現在建設中）と着実に工事が進んでいますが、路線計画も秩父市田村付近まではほぼ決定されて、その延伸先の路線計画が未決定であります。町としては延伸先を、長若・両神地内を通過し国道140号に接続できるよう強く望むところであります。また、西関東連絡道路へのアクセス道路として国道299号と秩父市内を結ぶ仮称長尾根トンネルの開削も併せて要望いたします。西関東連絡道路とこれにアクセスする道路の完成により、秩父地域の活性化と利便性の向上が図れますので早期完成を願うものであります。

2 国道299号の未改良区の早期実現

国道299号線は、入間市から群馬県を經由し長野県茅野市へ通じる道路です。この国道は町の主要部を縦断しており、町内から秩父市内へ行く道路として、町民にとって大変重要な幹線道路であります。特に三田川地域は、この国道が唯一の生活道路になっております。

しかしながら、急峻な地形の関係もあり志賀坂峠を始め未改良区間や交差点の危険な箇所等が数多くあり苦慮しているところであります。町としても、国道299号は生活に欠かせない重要な道路ですので、新志賀坂トンネルの開削、松井田交差点の改良、歩道の設置、三田川地域の未改良区間の改良等早期実現を要望いたします。

3 主要県道皆野両神荒川線・皆野荒川線の未改良地区の整備について

主要県道皆野両神荒川線は国道140号の迂回路として、また、観光及び産業面でも西秩父地域への入口としても大変重要な道路となっております。

しかしながら、皆野町の起点付近が解りにくく、未改良区間も多く危険な箇所が沢山あります。特に町内では、美女平地内の交差点が複雑なため事故が多発しており苦慮しております。

現在秩父市荒川贅川付近の改良工事を継続的に実施しておりますが、未改良区間の解消と美女平交差点の改良を引続き実施していただくよう要望いたします。この道路が整備された時には、国道140号の

迂回路として、また西関東連絡道路への別な角度でのアクセス道路として利用でき西秩父地域の活性化と、観光及び産業振興の向上につながるものと思いますので早期実現を要望いたします。

もう一路線の主要県道皆野荒川線は、国道299号と交差し、今建設中の皆野秩父バイパスにもアクセスできる重要な道路です。しかしながら、未改良区間が多く幅員が狭いため通行しにくい状況であります。

町としても、国道299号との交差点部分の改良と未改良区間の改良が早期に実現できるよう要望いたします。完成後には、西関東連絡道路とのアクセスもよい路線ですので、地域住民の利便性が多いに図れると思います。

4 一般県道の整備について

一般県道が、両神小鹿野線・薄小森線・藤倉吉田線・小鹿野影森停車場線・下小鹿野吉田線の5路線あります。このうち4路線は、地域住民にとって唯一の生活道路となっておりますが、急峻な山間部を通る道路で幅員も狭く災害の時には通行止めになることもあります。

各路線とも未改良区間、危険箇所等多くありますので、急峻な地形のところは1.5車線道路も取り入れながら早期実現を要望いたします。

○ 現状

秩父地域は、周囲を山に囲まれているため、高速道路や主要国道等にアクセスする道路が国道 140 号、299 号、そのほかに県道秩父児玉線と限られてしまっている。そのため、災害や渋滞に遭うと交通麻痺してしまう。秩父市内と西秩父地域を長尾根丘陵地帯が分断し安全で効果的に繋がる道路がなく、冬季などは凍結等のため通行に支障をきたしてしまう。

また、小鹿野町を含め西秩父地域は皆野両神荒川線が国道 140 号を東西に結ぶ重要な迂回道路としてあるが、道路改良されてないところが多く大変に不便をしている。

このような恵まれない交通事情が元で、企業の進出もなく若者の就労先が限られ、過疎化を増長している面がある。

秩父地域の交通手段は車を主としているため道路整備は生活のうえで必須の課題となっているが、整備が遅れているのが現状である。

以上の面からも、西関東連絡道路を中心にアクセスの良い国道・県道の早期改良が望まれる。

○ 課題

秩父地域は、交通のアクセスが悪いため新しい企業が進出してこないのも若者の働き場が少なく、働き場のある都市部へと若者が流出し、過疎化と高齢化が進んでいる状況です。

新しい企業に来てもらうためにも、高速道路や主要幹線国道にスムーズにアクセスできる道路網の早期整備が必要です。

また、観光面で小鹿野町に行きたいのだが道路の行き方が解り難いとの声もよく聞かれます。花園方面から来て県道皆野両神荒川線の皆野町内の入口や国道 299 号の秩父市内の入口付近が大変解り難いため、観光案内にも苦慮している。

県道薄小森線、両神小鹿野線、藤倉吉田線、皆野荒川線と国道 299 号の三田川地内は何れも山間部を谷沿いに通っている道路で、生活に欠かせない重要な道路であります。しかし、横につながる道路がないため災害時には通行止めになってしまうことがあります。そこで、横に通じる道路が必要であります。

秩父地域の今後の発展の為には、西関東連絡道路を中心とした道路整備が大変重要課題かと思われます。西関東連絡道路を軸とした、アクセス道路として国道 140 号、国道 299 号、主要県道皆野両神荒川線、皆野荒川線等の整備を推進し、併せてこれに接続する、県道、市町道の整備促進を図る。

このように交通アクセスが整備されることにより、新規企業の誘致、観光客の増加、地域の活性化など地域活力の向上につながると思います。また、生活面でも日常生活道路として利用していますので、道路改良が図れることにより、大規模な災害の時も大変役に立つと思います。

交通網のアクセスを更にアップし、高齢化・過疎化等の抑止、雇用の創出・経済効果の向上を図り、地域活性化を図りながら良好な生活空間の形成を図りたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 4

③道路施策の重要事項（代表事例、期待する効果や評価等）

埼玉県小鹿野町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
特になし			